

# コロナ過における国営讃岐まんのう公園の取組

香川県河川国道事務所 公園課 宮武 雄治

令和2年度は新型コロナウイルス感染症により、全国的に集客施設の利用者が激減したが、国営讃岐まんのう公園においても開園以来初となる長期休園措置や主要イベントの中止を余儀なくされた。

このようなコロナ過における国営讃岐まんのう公園の運営管理について報告する。

キーワード 利用促進、イベント、新型コロナウイルス感染症、広報

## 1. はじめに

国営讃岐まんのう公園（以下、「まんのう公園」）は、令和元年10月にため池としては日本で初めて国の名勝として指定された「満濃池」に隣接する丘陵地に整備された、豊かな自然と空海ゆかりの文化的土壌を活かし、四国における文化・スポーツ・レクリエーションの一大拠点となるべく運営管理を進めている四国で唯一の国営公園である。

### 【国営讃岐まんのう公園の概要】

- ・位 置：香川県仲多度郡まんのう町
- ・全 体 面 積：350ha
- ・事業採択年度：昭和59年度
- ・工 事 着 手：昭和62年度
- ・開 園 年 度：平成10年度
- ・全 面 開 園：平成25年4月21日

まんのう公園内は目的ごとに誰でも手軽に利用できる「中央広場ゾーン」、宿泊機能を備えた「宿泊ゾーン」、自分にあつた心身の健康づくりができる「健康ゾーン」、満濃池周辺の自然環境にふれる「湖畔ゾーン」、自然環境の中で体験・学習ができる「自然活用ゾーン」及び自然環境の保全を目指す「環境保全ゾーン」の6つのゾーンで構成されており、年間を通じて多くの方に利用されている。



図-1 まんのう公園ゾーン区分図

まんのう公園は開園以来、一定の入園者数を確保し四季の花風景、イベント及びボランティア団体による活動等を

通じ入園者の期待に応えてきた。

しかしながら、新型コロナウイルス感染防止による「緊急事態宣言」により、まんのう公園も令和2年4月18日から6月2日まで、開園以来初めての長期休園を余儀なくされた。

6月3日より再開園したが、新型コロナウイルス感染防止による外出自粛や、まんのう公園最大の大型音楽イベントの中止などにより、令和2年度上半期の入園者数は7.9万人と例年に比べ約3割まで落ち込んだ。しかしながら、令和2年度の年間入園者数は下半期の回復傾向もあり32万人と例年に比べ約6割となった。

本報告は、このようなコロナ過におけるまんのう公園の状況を報告するものである。

## 2. 令和元年度までの利用状況（入園者数）

平成10年度の開園から令和元年度までは、各ゾーンの開園ごとに年間入園者が増加しており、全面開園した平成25年度の年間入園者数が53万人と初めて50万人を超えた。また、平成27年度は56万人とまんのう公園の年間入園者数最多となった。その後は50万人前後で推移し平成30年度及び令和元年度は2年連続で50万人を超えている。



図-2 令和元年度までの年間入園者数の推移

### 3. 新型コロナウイルス感染症の影響

令和2年に入り、まんのう公園でも新型コロナウイルス感染症防止対策のため、2月当初に全てのトイレに消毒液を設置したことを皮切りに、様々な面での対応を行った。

- 2月 5日 全てのトイレに消毒液を設置  
園内各所に感染症対策のポスターを掲示
- 2月28日 88kmリレーマラソンの中止
- 2月29日 屋内施設、オートキャンプ場の利用中止  
全てのイベントを中止  
レストランはテイクアウトでの対応
- 3月 6日 お花見等の宴会を自粛要請
- 3月28日 レストランの通常営業を再開
- 4月 1日 オートキャンプ場の再開  
(一部施設は利用制限)

4月18日 臨時休園

5月16, 17日 四国B級グルメフェスタ中止

5月24日 モーターフェスタ2020中止

6月 3日 再開園

オートキャンプ場においては、再開後もサイト数の削減や宿泊キャビンの制限など予め予約人数を減らした営業を行った。

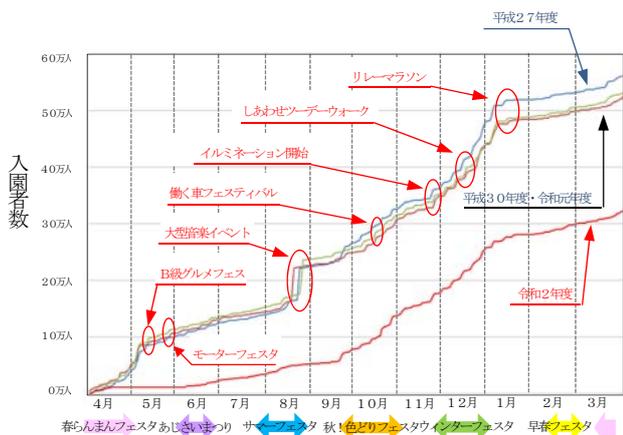


図-3 日入園者数の累計



写-1 大型イベントの中止

大型音楽イベントの中止を始め、多くの入園者でにぎわうイベントが中止又は規模を縮小しての開催となり、令和2年度の年間入園者数は32万人と例年に比べ約4割減少した。



図-4 令和2年度までの年間入園者数の推移

### 3. 臨時休園中の取組

臨時休園中においては再開園を見据え、園内の清掃やチューリップの球根の掘り起こしなどを運営維持管理受託者自らが、その作業状況を記者リリースやSNS・HPで紹介した。

中でも、高圧洗浄機によるエントランス部の石壁面清掃は再開以来初めて実施したもので多くのマスコミに取り上げられ好評を得た。



写-2 エントランス部の石壁面清掃状況

### 4. 新型コロナウイルス感染防止対策

まんのう公園では新型コロナ感染防止対策に関して以下の取り組みを行っている。

#### (1) マスク、消毒及び検温について

まんのう公園では、接客及び各種サービスの提供という観点から、スタッフのマスクまたはフェイスシールドの着用及びこまめな消毒を行い、入園者についてもマスクの着用、消毒及び検温への協力をお願いしており、体調不良や発熱のある方については入園をお断りする方針とした。



写-3 新型コロナウイルス感染症対策

また、密閉・密集・密接になりやすい遊具などは利用中止とし、消毒しにくい貸し出し遊具は利用を控えてもらった。



写-4 利用中止・貸し出し禁止の遊具

特に子供に人気のふわふわドームについては、時間制の整理券方式とし、屋根付き20名、屋根なし40名で各々30分の時間制限を行っている。



写-5 ふわふわドームの利用状況

#### (2) 参加人数の制限について

大型イベント以外にも、まんのう公園では30～50人程度の体験型イベント、各種体験教室やさめきの森を舞台

に里山教室などを開催している。

再開園後は新型コロナウイルス感染防止対策として、5～10人程度または少人数での班割と参加人数の制限を行って開催している。参加人数を制限しての募集を行っているが、各イベントともすぐに予約が埋まる状態である。



写-6 イベントの参加人数制限状況

## 5. 新たな取り組み

まんのう公園では、コロナ過においても入園者に魅力ある公園を体験してもらうために新たなイベントの開催に努めた。

### (1) コキアのライトアップ

毎年中央広場ゾーンで開催していた夏季の夜間開園(ライトアップ)は、マンネリ化もあり令和2年度に開園以来初めて花巡りの丘で開催することとした。花巡りの丘には四国最大規模となる約6,000本のコキアを植えており、ライトアップによって幻想的な空間の演出が可能となった。当初2週間連続の週末開催を予定していたが、コロナ過を考慮し、8月8日～10日の3日間とした。



写-7 コキアのライトアップ状況

期間内の入園者数は5,754人、内、夜間開園時間帯の入園者数が2,060人であり、夏の夜の幻想的な演出に入園者から好評を得た。

### (2) 花火競技大会

令和2年6月9日に無観客の花火大会が実施され、その模様を世界初となるオンラインで放映を行った。

この花火大会はマスコミ報道で特集を組まれるほど、インパクトがあり、その後全国各地で無観客での花火の打ち上げが行われ、その都度マスコミ報道がなされていた。

令和3年1月16日にはまんのう公園初となる有料の花火大会を行った。一人約1万円と設定したチケットではあったが早々に完売し、関心の高さがうかがえた。

今回は屋外イベントであったものの、新型コロナ感染防止を意識し、大型音楽イベントの1日あたりの入園者数の1/10以下となる約2,500人(当日入園者数約2,200人)とした。



写-9 有料花火大会の状況

## (2) セグウェイ体験

冬季でも屋外で三密を避けて楽しめるイベントを提供するため、まんのう公園では初となるセグウェイの乗車体験教室を行った。セグウェイは国営越後丘陵公園から6台を借用し行った。

体験教室は令和3年1月30日～3月14日の土日祝日延べ16日行った。実施にあたりマスコミ向け体験会を行い、多くのマスコミ報道もあり毎回定員を上回る応募があった。乗車は60分(説明、練習は除く)で主にサイクリングコースを使用し、満濃池を見渡せる展望台やスイセンなどの花の見所を巡りながら約7kmを走行した。



写-8 セグウェイ体験状況

参加者からは、「とても楽しかった」、「違う季節も体験したい」と好評を得ることができた。

## 6. まとめ

令和2年度下半期においては新型コロナウイルス感染防止対策に係わる制限緩和、GO TOトラベル事業の運

用開始や学校団体の利用回復により、12月の新型コロナウイルス感染症第3波及び寒波の影響はあったものの、例年の約9割強の入園者となった。

しかしながら、新型コロナウイルス感染症は予定していた大型イベントを初め、数々のイベントや行催事が中止又は規模縮小を余儀なくされた。またオートキャンプ場や売店・レストランの休業による経営苦など、まんのう公園にも大きな影響をもたらした。

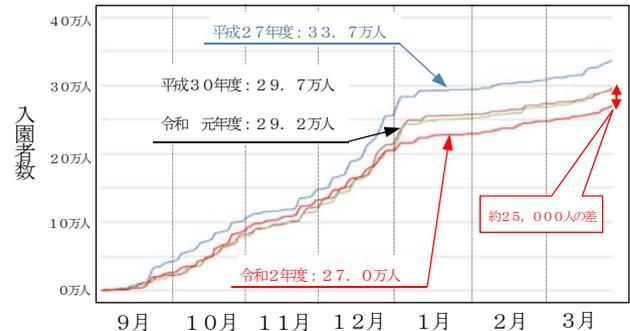


図-5 下半期の入園者数の推移 (9月含む)

また、令和元年度と令和2年度の入園者の居住地を比較すると、香川県内在住者が5.3%から6.7%と来園が増加した。

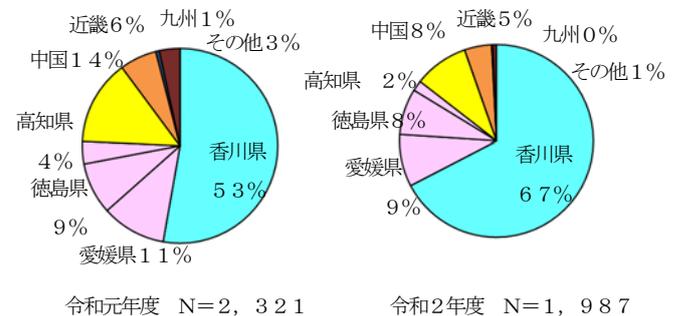


図-6 居住地別入園者

これは、香川県外の方が遠出を敬遠したことにより、香川県内において県外観光客が減少した結果、県内入園者の比率が高くなったものと考えられる。

このことから、地域の方々にとってのまんのう公園がさらに身近な存在となったのではと思われる。

## 7. 最後に

香川県内での新型コロナウイルス感染症拡大の影響により、令和3年5月4日～6月2日まで臨時休園とし、6月3日から6月20日は土日を臨時休園することを余儀なくされたが、新型コロナウイルス感染症の早期の収束により、例年どおりいつでも大勢で来園していただき、まんのう公園を楽しんでいただけることを望むものである。